

柿其溪谷(かきぞれけいこく)に行ってきました！

記：西村静雄

コロナ禍で、自粛、自粛生活して、早7ヶ月が経ちました。一切の会合、飲み会をお断りしてコロナウイルスが撃退されるのが待ち遠しく過ごしている中、先日梅雨明けした8月1日に、自家用車で長野県南木曾町の柿其溪谷に孫2人を連れて行ってきました。

無料駐車場に駐車して、5人がやっと渡れる「恋路のつり橋」を渡り、少し増水した川の崖沿いの道(殆どが木製の階段)を300m程度進むと「牛ヶ滝」に到着。花崗岩がウオーターライダーのように水を滑らせています。

エメラルブルーの透明度の高い川でした。近くの阿寺溪谷にも寄って見ましたが、水がとても冷たく、酷暑の夏には避暑に最適で多くの若者が冷たい川遊びをして楽しんでいました。

1週間後に岩屋堂にも行きましたが、行楽客が多く、やっとの事で無料駐車場に車を止め、川遊びしましたが、人が多く、水温も阿寺溪谷と比べると少し物足りない感が致しました。



恋路のつり橋



柿其川